日本共産党市議会議員　塩原孝子　第31号　2026年　秋号



たか子のあったか通信

発行責任者：塩原孝子　連絡先:松本市寿北5-15-27　Email：takako092@outlook.jp　☎0263-27-1122（共産党）

みなさんの願いをお聞かせください

日本共産党中信地区委員会は2027年春の一斉地方選挙について記者会見しました。犬飼あけみ市会議員が両角友成県会議員からバトンタッチします。松本市議会議員選挙では、現職の塩原たか子・宗田まゆ美、新人のくわ山雅徳・山野さち子が挑戦します。くらしの願いを市政に届けます。



市民の声が届く市政へ

日本共産党市議団は、市民のみなさんと一緒に、福祉と人権を守り、安心して住み続けられる松本市をめざしてきました。

来春はバージョンアップして、みなさんの声をもっと届けられるように4人の市議団をめざします。

いま私たちは要求アンケート対話で、様々な世代の声をお聞きしています。

＊物価高でくらしも営業も大変
＊水道料金が上がってがっかり
＊お金がないと介護施設に入れない
＊介護認定が受けられない
＊地域交通を充実させて、免許返納しても外出できるようにしたい
＊障がい者も差別されることなく暮らしたい
＊手続きがデジタルになり困っている
＊戦争は絶対だめ！平和が一番
＊教育にもっと予算を回して
（ほか多数）

いまの松本市政には、私たちの声が届いているでしょうか？みなさんの切実な要望が届く市政になるよう力を尽くします。

市民アンケート
スマホ回答



9月議会

動画

発達障がい児者支援事業

「日常生活用具給付」の対象に視覚的支援具を入れた茅野市のように、松本市でも支援してほしいという要望が、お母さん達からあり質問しました。

生活保護行政

いのちの砦裁判で最高裁で原告が勝訴。2013年に遡り、減額された保護費が追加給付されます。現在も利用している方は申請しなくても給付が始まっていますが、過去に受給歴のある方は申請が必要です。あらゆるマスコミやポスター掲示などして周知を強めることを求めました。

「人権」守る質問に共感広がる

視覚的支援シェアサークル あいらんど　Yさん（50代主婦）

大きな味方のいる実感

発達障害・自閉症当事者への視覚的支援は必須であり、障がい者差別解消法は2年前に義務化されています。

それに伴い合理的配慮として視覚的支援の道具を使うことで強度行動障害が予防できる情報とともに、実際に使用されている視覚的支援の道具の紹介がありとても分かりやすい具体的な内容でした。

視覚的支援を日々使いながら学ぶ家族と支援者の会『視覚的支援シェアサークルあいらんど』の参加者から丁寧に聞き取りを行い且つ、人権保護を特に強く重んじる塩原議員の熱い想いが伝わるお話だったように思います。

日常生活用具給付事業の拡大は今後の課題ではありますが、大きな味方がいる実感が得られた見事な質問でした。



一般質問時にボードで示した視覚的支援のカレンダー。きめ細やかな公的支援が必要です。

反貧困セーフティネット アルプス世話人　児玉典子さん

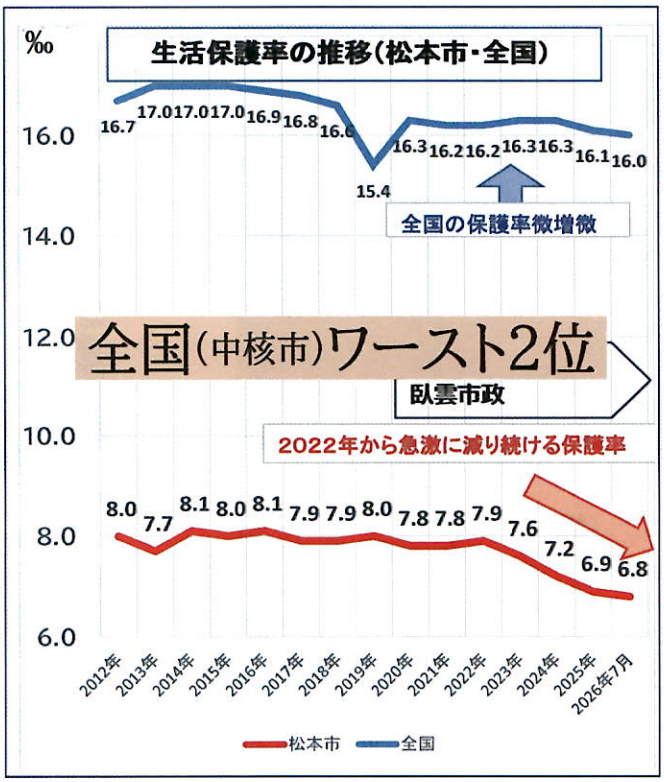
マスコミも注目した指摘

「ケースワーカーから資産申告の時、お財布の中を見せてくださいと言われ、変だと思ったけど財布をあけて見せることになった。家に帰ってから屈辱感と口惜しさが込み上げてきた」

ひとりの声が市の生活保護行政を問うきっかけになりました。

反貧困セーフティネットアルプスは、生活保護行政改善の申し入れを行いました。この声がきっかけで生活保護利用の人たちが次々と声を上げました。

マスコミでも財布中身問題、原則アポなし訪問方針の問題などが取り上げられ、市長は記者会見で、財布は自発的に見せたとかアポなし訪問は不正受給を取り締まる手法だと説明し、人権侵害をただす方針を示しませんでした。



千曲市は改善約束、松本市は？

塩原議員は議会で人権侵害の「声」を取り上げ、生活保護率が全国62の中核市の中でワースト2となっており、取り締まりから人権尊重の生活保護行政への転換を求めました。アポなし訪問をしていた千曲市は改善を約束しましたが、松本市はまだ市民の声に向き合う姿勢が感じられません。引き続き声を上げていきます。

ゴミ有料化は本当に必要？？

行政と市民との協同で環境にやさしいゴミ行政を

松本市は令和10年度を目途に、ゴミ袋代に処理費用を上乗せするゴミ有料化を進めようとしています。

1トンあたり1円～1.3円処理料が上乗せされると袋代が4倍に跳ね上がります。

市民の努力でゴミは減っています。事業系に含まれる集合住宅のゴミを、指定ゴミ袋で分別すれば減量は出来ます。松本市は事業系ゴミ対策をもっと強化する必要があります。

国の補助金の要件に「有料化」を入れている事自体も納得できません。



ゴミ処理は行政サービスで行うものです

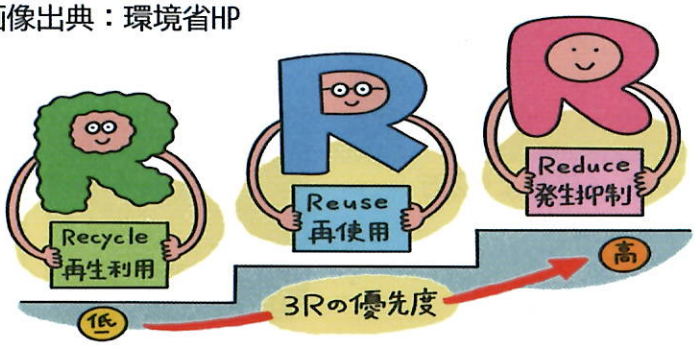
市民の努力で生活系（家庭ゴミ）は県内19市中13位と減量化が進んでいます

さらなる減量対策の提案

①“混ぜればゴミ　分ければ資源”
更なる分別の努力

②3R（リデュース・リユース・リサイクル）の徹底

画像出典：環境省HP



③ 事業系ゴミ対策（集合住宅家庭にも指定ゴミ袋を使う等）

④家庭ゴミの4割を占める生ごみの減量化

市民アンケートは8割が反対

- ○ 台所ゴミは乾燥させて出しています
- ○ 不法投棄をする人がますます増えそう
- ○ 生ゴミ堆肥化を大きく展開してほしい
- ○ 包装の簡略化をしてほしい
- ○ ゴミを出さなくてもすむ方法に社会システムが変化すべき
- ○ 毎日細かく細かく分別しています。物価高のなかで指定ゴミ袋まで値上げはひどすぎます

などの声が届いています。
引き続きお寄せください



ゴミ袋有料化に反対する
署名にご協力を！！

生ゴミ減量化で使える市の補助制度

＜　申請場所　＞
クリーンセンター内の資源循環推進課
環境保全課（東庁舎）　支所・出張所

種　　類	補助率	補助限度額	一世帯補助台数
生ゴミ処理機	2分の1以内	4万円	1台
落ち葉選定木処理	2分の1以内	5万円	1台
ぼかし容器	3分の1以内	1万5千円	2台

暮らしの相談から

相談 エアコン補助申請が大変

非課税世帯のエアコン設置補助がスタートしましたが、「設置申請に10回も市役所に出向いた。故障エアコンが付いたままではだめ。まず撤去。安いエアコンが見つからない。社協の貸付申請をする。設置したら写真を撮って持っていくなどハードルがいくつもあり大変だった」とのことでした。



対応

6月議会で求めてきた申請期間が12月末まで延長になったことは良かったです。しかし、相談者のように申請手続きがとても煩雑で時間も要し、利用者には負担がかかるので簡略化を求めました。

相談 擁壁の亀裂が心配

長雨の影響で擁壁（ようへき）に亀裂が入り、千葉の豪雨災害のように崩れてこないか心配です。

対応

すでに市役所に相談しているとのことでしたので、建築指導課に対応を聞きました。現地にまだ出向いていないとのことで、現場の確認を依頼しました。調布市では「擁壁診断士」が全市的に診断していることを伝え、市の住宅耐震補強工事補助金の仕組みを擁壁にも適用するよう要望しました。



相談 妻の退院後の介護施設は

きずな村の寿台会場に参加しました。「塩原孝子くらしの相談会」を行い2組の方が訪れました。

妻の入院中の病院から、そろそろ退院をしてほしいと言われ施設が見つからず困っているという相談でした。



対応

介護4だということなので、松塩筑木曽老人施設組合の申し込みをすすめました。

ほっとひといき

朝日村に住んでいる娘家族が、川に放流したヤマメをつかみ取りして持ってきてくれました。さばくのも孫が娘に教えてもらい、炭火で焼いて家族で美味しくいただきました。生き物をいただくという取り組みは本当にすばらしいと思います。



長野県知事選挙



たけだ良介候補　4年前より2万4千票伸ばす大健闘。

松本城の床磨き

国宝5城（松本城、姫路城など）をオンラインで結び同時に床磨きを行いました。



活動日誌

要求対話アンケート



松本駅前で要求対話アンケートを行いました。「物価が高い」「給料・働き方改善」「平和」等にたくさんシールが張られました。

信大VOTERSと議員の交流



学生が政治に参加しやすい環境づくりに取り組む信州大学（本部・松本市）の学生団体「VOTERS（ボーターズ）」と、松本市議10人で交流会を開き、ざっくばらんに松本市の課題について語り合いました。